

国内で接種可能な新型コロナワクチン_12歳以上

<一般的事項> (作成日：2023/01/25現在)

製造販売業者	特例臨時接種で用いられるワクチン						
	ファイザー			モデルナ			武田/ノババックス
販売名	コミナティ筋注 (1価：起源株) (紫キャップ)	コミナティRTU筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.1) (<u>グレーキャップ</u>)	コミナティRTU筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.4-5) (<u>グレーキャップ</u>)	スパイクバックス筋注 (1価：起源株) (赤キャップ)	スパイクバックス筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.1) (<u>青キャップ</u>) 外箱・ラベル <u>黄緑</u>	スパイクバックス筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.4-5) (<u>青キャップ</u>) 外箱・ラベル <u>グリーン</u>	ヌバキンソビッド筋注
承認年月	2021年2月	2022年9月	2022年10月	2021年5月	2022年9月	2022年11月	2022年4月 (接種開始 2022年5月)
種類	mRNAワクチン						組換えタンパクワクチン (アジュバントを含む)
対象年齢 (注)	12歳以上 3回目接種は12歳以上 4回目接種は60歳以上 18歳以上の ・基礎疾患がある方等** ・医療従事者等	12歳以上 (追加接種としてのみ ：作成日現在)		12歳以上 3回目接種は12歳以上 4回目接種は60歳以上 18歳以上の ・基礎疾患がある方等** ・医療従事者等		12歳以上 (追加接種としてのみ ：作成日現在)	12歳以上 追加接種は18歳以上
接種不適当者 (添付文書記載 一般の共通事項 (注釈※1ほか))	—	—	—	—	—	—	—
接種方法	筋肉内投与						
1回接種量	希釈後 0.3 mL	希釈なし 0.3 mL		希釈なし 0.5 mL (3・4回目は 希釈なし 0.25 mL)	(追加) 希釈なし 0.5 mL		希釈なし 0.5 mL
希釈に使用する生理食塩液量	1.8 mL						
1バイアルの含有量	6回分	6回分		(初回) 10回分 (追加) 15回分以上	(追加) 5回分		10回分
1回接種量中の有効成分量 (mRNAワクチン参考)	30 µg	起源株 15 µg + オミクロン株BA.1 15 µg	起源株 15 µg + オミクロン株BA.4-5 15 µg	100 µg (0.25 mLの場合 50 µg)	(追加) 起源株 25 µg + オミクロン株BA.1 25 µg	(追加) 起源株 25 µg + オミクロン株BA.4-5 25 µg	
「初回接種」接種回数	2回	—	—	2回	—	—	2回
接種間隔 (*)	21日	—	—	28日	—	—	21日
上記接種間隔 (*) を超えて 接種間隔が空いた場合の対応	1回目の接種から上記の標準の接種間隔を超えた場合は、できるだけ早期に2回目を接種	—	—	1回目の接種から上記の標準の接種間隔を超えた場合は、できるだけ早期に2回目を接種	—	—	1回目の接種から上記の標準の接種間隔を超えた場合は、できるだけ早期に2回目を接種
他のワクチンとの接種間隔	他のワクチンとの接種間隔						
インフルエンザワクチンとの同時接種	インフルエンザワクチンとの同時接種						
インフルエンザワクチン以外の他のワクチンとの同時接種	インフルエンザワクチン以外の他のワクチンとの同時接種						
インフルエンザワクチン以外の他のワクチンとの接種間隔	インフルエンザワクチン以外の他のワクチンとの接種間隔						
適応【回数別】	前後13日以上あける						
1回目：「初回接種」1回目	○	—	—	○	—	—	○
2回目：「初回接種」2回目	○	—	—	○	—	—	○
3回目：「第一期追加接種」(注)	○ 12歳以上 「初回接種」終了後3か月以上(※6)経過後 「初回接種」と異なる種類のワクチン接種可	—	—	○ 12歳以上	—	—	—
4回目：「第二期追加接種」(注)	○ 60歳以上 および 18歳以上の ・基礎疾患がある方等** ・医療従事者等	—	—	○ 60歳以上 および 18歳以上の ・基礎疾患がある方等** ・医療従事者等	—	—	—
「令和4年秋開始接種」(注)	—	○ 12歳以上	—	—	○ 12歳以上	—	○ 18歳以上 前回接種終了後6か月以上経過後

注 詳細は添付文書及び「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」をご参照ください。

国内で接種可能な新型コロナワクチン_12歳以上

<保存管理・調製> (作成日：2023/01/25現在)

		特例臨時接種で用いられるワクチン							
製造販売業者		ファイザー			モデルナ		武田/ノババックス		
販売名		コミナティ筋注 (1価：起源株)	コミナティRTU筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.1)	コミナティRTU筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.4-5)	スパイクバックス筋注 (1価：起源株)	スパイクバックス筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.1)	スパイクバックス筋注 (2価：起源株/オミクロン株BA.4-5)		
保存条件・期間	温度	18か月間 ※3 2023年1月25日延長		18か月間 ※3 2022年12月15日延長		× -50℃以下で保管しない		× 凍結を避ける	
	-90～-60℃ (-75℃対応型冷凍庫)	14日間 1度だけ-90～-60℃に戻して 保存可能		× 保存不可		9か月間 ※3 2021年11月12日延長		9か月間	× 凍結を避ける
	-25～-15℃ (-20℃対応型冷凍庫)	1か月間 (31日間)		10週間		30日間		9か月間	
	2～8℃ (冷蔵庫)	— (下記参照)		— (下記参照)		最長24時間 (穿刺前)		—	
	8～25℃ (室温)	— (下記参照)		— (下記参照)		最長24時間 (穿刺前)		—	
備考	・ 冷蔵庫で解凍する場合は、解凍及び希釈を1か月以内に行う。 ・ 室温で解凍する場合は、解凍及び希釈を2時間以内に行う。 ・ 希釈後室温で6時間以内		室温では24時間以内に使用 1回穿刺後は2～30℃保存で12時間以内		(一度針を刺したもので以降) 2～25℃保存で12時間		(一度針を刺したもので以降) 2～25℃保存で6時間以内		
保存・準備時に関する注意事項	2～8℃で保存後再冷凍はしない 解凍後に再凍結しない 解凍時・希釈後も室内照明による曝露を最小限に抑える				2～8℃で保存後再冷凍はしない 解凍後に再凍結しない 解凍後も遮光 接種の際は常温に戻して使用 (常温で15分置くなど)		外箱開封後は遮光 薬液は凍結しない		
解凍温度・時間	2～8℃：3時間 室温で解凍する場合の解凍時間 (は30分を目安とすること)		2～8℃ または 室温で解凍 (解凍時・解凍後も遮光)		2～8℃：2時間半 15～25℃：1時間 (解凍時・解凍後も遮光)				

備考	<p>*** 下記URL参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎疾患を有する者 https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/202325_0098.pdf 重症化リスクの高い基礎疾患を有する者の範囲について https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/11-19.pdf 	<p>*** 下記URL参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎疾患を有する者 https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/202325_0098.pdf 重症化リスクの高い基礎疾患を有する者の範囲について https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/uploads/11-19.pdf 	<p>2022年10月28日付で添付文書の改訂がなされ、4回目以降の接種が可能となりました。 同年11月8日付で3～5回目の接種が「令和4年秋開始接種」に位置付けられました (第一期追加接種の対象から変更)。</p>
----	---	---	--

注 詳細は添付文書及び「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」をご参照ください。

※1 接種不適当者 一般的共通事項

- 1 明らかな発熱を呈している者
- 2 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
- 3 本剤の成分に対し重度の過敏症の既往歴のある者
- 4 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

※2 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンについては、間隔の規定が廃止され、同時接種が可能 (2022年7月22日開催第33回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会にて決定)。

なお、創傷時の破傷風トキソイド等、緊急性を要するものに関しては例外として2週間を空けずに接種可能。

※3 「ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて」 (令和5年1月25日付け厚生労働省健康局予防接種担当参事官室事務連絡) をご参照ください。

※4 アストラゼネカ社新型コロナワクチンは2022年9月30日をもって特例臨時接種としての接種、供給終了。

※5 ヤンセンファーマ社新型コロナワクチンが2022年6月に薬事承認されている (臨時接種対象外) が、2022年9月12日現在未販売のため表内未掲載。

※6 2022年10月21日より、ファイザー社およびモデルナ社の新型コロナワクチン 1価起源株ワクチン、2価オミクロン株対応ワクチンの追加接種の接種間隔が「5か月以上」から「3か月以上」へ変更。

国内で接種可能な新型コロナワクチン_小児

<一般的事項>

(作成日：2023/01/25現在)

		特例臨時接種で用いられるワクチン	
製造販売業者		ファイザー	
販売名		コミナティ筋注 (5~11歳用) (オレンジキャップ)	コミナティ筋注 (6か月~4歳用) (マルーン (栗色) キャップ)
承認年月		2022年1月 (接種開始 2022年2月)	2022年10月
種類		mRNAワクチン	
対象年齢 (注)		5~11 歳	6か月~4歳
接種不相当者 (添付文書記載 一般の共通事項 (注※1 ほか))		—	—
接種方法		筋肉内投与	
1回接種量		希釈後 0.2 mL	希釈後 0.2 mL
希釈に使用する生理食塩液量		1.3 mL	2.2 mL
1バイアルの含有量		10回分	10回分
1回接種量中の有効成分量 (mRNAワクチン参考)		10 µg	3 µg
「初回接種」接種回数		2回	3回
接種間隔 (*)		21日	・2回目 1回目から21日 (=20日の間隔を置いて) ・3回目 2回目から少なくとも8週間 (56日) 経過した後 (=55日以上の間隔を置いて)
上記接種間隔 (*) を超えて 接種間隔が空いた場合の対応		1回目の接種から上記の標準の接種間隔を超えた場合は、 できるだけ早期に2回目を接種	各回の接種から上記の接種間隔を超えた場合は、 できるだけ速やかに次回を接種
他のワクチンとの接種間隔			
インフルエンザワクチンとの同時接種		インフルエンザワクチンとの間隔の規定が廃止され同時接種可能 (作成日現在)	
インフルエンザワクチン以外の他のワクチンとの同時接種		インフルエンザワクチン以外のワクチンの同時接種不可 (作成日現在) ※2	
インフルエンザワクチン以外の他のワクチンとの接種間隔		前後13日以上あける	
適応【回数別】			
1回目：「初回接種」1回目		○	○
2回目：「初回接種」2回目		○	○
3回目：「初回接種」3回目		—	○
3回目：「第一期追加接種」 (注)	「初回接種」終了後5か月以上 (※7) 経過後 「初回接種」と異なる種類のワクチン接種可	○ (2022年9月6日開始：初回接種と同量 0.2 mL)	—
4回目：「第二期追加接種」 (注)		× (作成日現在)	—

注 詳細は添付文書及び「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」をご参照ください。

国内で接種可能な新型コロナワクチン_小児

<保存管理・調製>

(作成日：2023/01/25現在)

		特例臨時接種で用いられるワクチン	
製造販売業者		ファイザー	
販売名		コミナティ筋注（5～11歳用）	コミナティ筋注（6か月～4歳用）
保存条件・期間	温度		
	-90～-60℃（-75℃対応冷凍庫）	18か月間 ※3 2022年12月15日延長	18か月間 ※3 2022年12月15日延長
	-25～-15℃（-20℃対応冷凍庫）	×：保存不可	
	2～8℃（冷蔵庫）	10週間	
	8～25℃（室温）	—	
	備考	室温では24時間以内に使用 希釈後（1回穿刺後）は2～30℃保存で12時間以内	
保存・準備時に関する注意事項		2～8℃で保存後再冷凍はしない 解凍時・希釈後も室内照明による曝露を最小限に抑える	
解凍温度・時間		2～8℃：4時間 室温で解凍する場合の解凍時間は30分を目安とすること。 （室温解凍の場合は24時間以内かつ希釈後12時間以内に接種。一度針を刺した以降は12時間以内に使用）	

備考	1.3 mL で希釈、接種量 毎回0.2 mL	2.2 mL で希釈、接種量 毎回0.2 mL・3回接種
		接種部位：三角筋中央部又は大腿前外側部 ※1歳未満は大腿前外側部に筋肉内接種する。臀部には接種しないこと

注 詳細は添付文書及び「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」をご参照ください。

※1 接種不適合者 一般的共通事項

- 1 明らかな発熱を呈している者
- 2 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
- 3 本剤の成分に対し重度の過敏症の既往歴のある者
- 4 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

※2 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンについては、間隔の規定が廃止され、同時接種が可能（2022年7月22日開催第33回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会にて決定）。

なお、創傷時の破傷風トキソイド等、緊急性を要するものに関しては例外として2週間を空けずに接種可能。

※3 「ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて」（令和5年1月25日付け厚生労働省健康局予防接種担当参事官室事務連絡）をご参照ください。

※7 12歳以上で使用されるファイザー社新型コロナワクチンの追加接種の接種間隔は「3か月以上」へ短縮されたが（2022年10月21日より）、小児における追加接種間隔は「5か月以上」のまま同日以降も不変。